

(様式第9)

浜医大医第119号
平成20年1月

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人浜松医科大学
学長 寺尾俊彦

浜松医科大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成19年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	51人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

→ 別紙参照(様式第12)

- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績

→ 別紙参照(様式第13)

- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	251人	51人	281.3人	看護業務補助	70人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	7人	8人	13.1人	理学療法士	8人	蘇生臨床検査技師	44人
薬剤師	27人	0人	27.0人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	3人	検査その他	0人
助産師	23人	2人	24.5人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	356人	31人	376.6人	臨床工学技士	6人	医療社会事業従事者	0人
准看護師	0人	0人	0.0人	栄養士	1人	その他の技術員	15人
歯科衛生士	1人	0人	1.0人	歯科技工士	1人	事務職員	87人
管理栄養士	5人	3人	7.2人	診療放射線技師	21人	その他の職員	20人

(注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	466.7人	9.3人	476.0人
1日当たり平均外来患者数	1070.7人	49.0人	1119.7人
1日当たり平均調剤数		493	剤

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を曆日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ曆日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・無	人
胎児心超音波検査	有・無	人
インプラント義歯	有・無	人
顎顔面補綴	有・無	人
顎関節症の補綴学的治療	有・無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術	有・無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	人
CTガイド下気管支鏡検査	有・無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	人
腹腔鏡下肝部分切除術	有・無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	人
成長障害のDNA診断	有・無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	人
ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断	有・無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	6人
重粒子線治療	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
31鱗一磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素凍結骨移植	有・無	人
脾腫瘍に対する腹腔鏡補助下脾切除術	有・無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	人
超音波骨折治療法	有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・無	12人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・無	人
膀胱水圧拡張術	有・無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジエネレーション法	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	有・無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	人
カフェイン併用化学療法	有・無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ベーチェット病	53 人	・モヤモヤ病(ウィルス動脈輪閉塞症)	12 人
・多発性硬化症	19 人	・ウェグナー肉芽腫症	7 人
・重症筋無力症	55 人	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	16 人
・全身性エリテマトーデス	188 人	・多系統萎縮症	15 人
・スモン	1 人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1 人
・再生不良性貧血	30 人	・膿胞性乾癬	6 人
・サルコイドーシス	159 人	・広範脊柱管狭窄症	1 人
・筋萎縮性側索硬化症	14 人	・原発性胆汁性肝硬変	6 人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	145 人	・重症急性胰炎	3 人
・特発性血小板減少性紫斑病	38 人	・特発性大腿骨頭壊死症	44 人
・結節性動脈周囲炎	20 人	・混合性結合組織病	20 人
・潰瘍性大腸炎	117 人	・原発性免疫不全症候群	3 人
・大動脈炎症候群	12 人	・特発性間質性肺炎	19 人
・ビュルガーラ病	17 人	・網膜色素変性症	14 人
・天疱瘡	17 人	・プリオント病	0 人
・脊髄小脳変性症	20 人	・原発性肺高血圧症	7 人
・クローン病	94 人	・神経線維腫症	7 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1 人	・亜急性硬化性全脳炎	0 人
・悪性関節リウマチ	23 人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1 人
・パーキンソン病関連疾患	115 人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	0 人
・アミロイドーシス	6 人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	2 人
・後縦靭帯骨化症	17 人	・副腎白質ジストロフィー	0 人
・ハンチントン病	0 人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月1回(乳腺カンファレンス) 週1回(産婦人科術後カンファレンス)
剖 檢 の 状 況	剖検症例数 26 例 剖検率 9.8 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
光技術を融合した生体機能計測技術の研究開発(近赤外乳がん検査装置の臨床評価)	阪原晴海	放射線医学	16,000,000	文部科学省研究振興局
高機能自閉症の生物学的指標と神経心理学的臨床所見の関連について	森 則夫	精神神経医学	1,200,000	国立精神・神経センター
精神・発達障害のメカニズム解明と多目的コホートによる早期発見方法の開発	武井教使	子どものこころの発達研究センター	14,000,000	国立成育医療センター
環境化学発がん物質の曝露評価法の開発と発がんリスク評価に関する研究	梶村 春彦	病理学第一	1,500,000	厚生労働省 科学研究費補助金
慢性腎臓病(CKD)の普及啓発に関する研究	菱田 明	内科学第一	2,000,000	厚生労働省 科学研究費補助金
治験の実施に関する研究(酢酸リュープロレリン)	宮嶋裕明	内科学第一	2,500,000	厚生労働省 科学研究費補助金
ホルモン受容機構異常にに関する調査研究	中村 浩淑	内科学第二	1,800,000	厚生労働省 科学研究費補助金
弓部大動脈全置換術における超低体温療法と中等度低体温療法のランダム化比較試験	鷲山 直己	第一外科	200,000	厚生労働省 科学研究費補助金
早期前立腺がんにおける根治療法後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	大園 誠一郎	泌尿器科学講座	300,000	厚生労働省 科学研究費補助金
急性高度難聴に関する調査研究	水田邦博	耳鼻咽喉科学	1,100,000	厚生労働省 科学研究費補助金
がんを安全・高感度で鮮明に画像化できるナノサイズシュガーボールデンドリマー型新規MRI造影剤の開発研究	阪原 晴海	放射線医学講座	2,000,000	厚生労働省 科学研究費補助金
産科領域における医療事故の解析と予防対策	金山 尚裕	産婦人科学	200,000	厚生労働省 科学研究費補助金
小児期メタボリック症候群の概念・病態・診断基準の確立及び効果的介入に関するコホート研究	大関 武彦	小児科学	31,000,000	厚生労働省 科学研究費補助金
副腎ホルモン産生異常にに関する調査研究	大関 武彦	小児科学	500,000	厚生労働省 科学研究費補助金
多施設共同研究に登録された白血病の検体収集と中央保存システムの確立	竹下 明裕	臨床検査医学	500,000	厚生労働省 科学研究費補助金
信頼性調査のあるべき方向性に関する研究について	渡邊 裕司	臨床薬理学	4,000,000	厚生労働省 科学研究費補助金
難治性白血病に対する標準的治療法の確立に関する研究	大西 一功	化学療法部	27,381,000	厚生労働省 科学研究費補助金
難治性白血病に対する標準的治療法の確立に関する研究(若手医師・協力者活用に要する研究)	大西 一功	化学療法部	8,138,000	厚生労働省 科学研究費補助金
成人難治性白血病の分子生物学的特徴に基づく治療法に関する研究	大西 一功	化学療法部	1,500,000	厚生労働省 科学研究費補助金
病態時における血液脳関門の破綻と医薬品による中枢神経系副作用の発現との関係解明	川上 純一	薬剤部	1,100,000	文部科学省 科学研究費補助金
成長期毛包における免疫特殊環境と円形脱毛症の病態の解明	伊藤 泰介	皮膚科学	800,000	文部科学省 科学研究費補助金

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肺腺癌の発癌過程における結節性硬化症遺伝子の関与の解明	高持 一矢	外科学第一	1,100,000	文部科学省 科学研究費補助金
慢性閉塞性肺疾患に対する胸郭外陰圧式人工呼吸器使用と運動療法の有用性	山内 克哉	リハビリテーション部	700,000	文部科学省 科学研究費補助金
アミラー症の遺伝子発現の新規タイピング法の開発と腫瘍産生アミラー症解析への応用	石川 仁子	検査部	1,100,000	文部科学省 科学研究費補助金
円形脱毛症における調節性T細胞の関与と局所免疫療法との関連について	伊藤 なつ穂	皮膚科	1,300,000	文部科学省 科学研究費補助金
MRIを用いた頸動脈分岐部における血管壁剪断应力の解析	山下 修平	放射線科	1,400,000	文部科学省 科学研究費補助金
がん染色体不安定性の要因としての中心体サイクル制御機構異常にに関する研究	新村 和也	病理学第一	1,200,000	文部科学省 科学研究費補助金
レニンーアンジオテンシンシステム抑制による胃発癌予防効果の検討	杉本 光繁	内科学第一	1,900,000	文部科学省 科学研究費補助金
シスプラチノに対するNF κB阻害薬の癌と腎へのdual effectsの検討	安田 日出夫	救急医学	1,100,000	文部科学省 科学研究費補助金
原発性高蔥酸尿症に対する抗SDH抗体を用いた新しい診断法の開発	永田 仁夫	泌尿器科	1,300,000	文部科学省 科学研究費補助金
口腔扁平上皮癌における制御性T細胞の誘導制御機構とその役割の解明	渡邊 賀子	歯科口腔外科	1,000,000	文部科学省 科学研究費補助金
修復遺伝子多型の喫煙関連がんおよび多発がんリスクへの影響	梶村 春彦	病理学第一	5,700,000	文部科学省 科学研究費補助金
経皮ペプチド免疫療法によるヒトの悪性黒色腫治療	瀧川 雅浩	皮膚科学	10,400,000	文部科学省 科学研究費補助金
サルの統合失調症モデルの作出と統合失調症に対する神経幹細胞脳内移植療法の開発	森 則夫	精神神経医学	16,200,000	文部科学省 科学研究費補助金
エピジェノタイピングによる予防医学／個別化医療の実践に関する研究	前川 真人	臨床検査医学	3,000,000	文部科学省 科学研究費補助金
ミトコンドリア膜電位依存的腫瘍集積性を示す放射性薬剤の集積意義と新規薬剤への展開	阪原 晴海	放射線医学	2,100,000	文部科学省 科学研究費補助金
血管内皮細胞カルシウム流入経路関連遺伝子の網羅的解析と創薬ターゲット遺伝子の探索	渡邊 裕司	臨床薬理学	1,100,000	文部科学省 科学研究費補助金
脳画像法と分子生物学的手法による高機能自閉症の病態発生に関する研究	中村 和彦	精神科神経科	6,600,000	文部科学省 科学研究費補助金
幹細胞をベクターとするグリオーマ遺伝子治療の臨床応用への研究	難波 宏樹	脳神経外科学	1,600,000	文部科学省 科学研究費補助金
母体腹壁からの非侵襲的胎児酸素モニタリングの開発	金山 尚裕	産婦人科学	3,700,000	文部科学省 科学研究費補助金
糖鎖結合を利用したリガンドおよびホルモンのビオチニ化と非放射性受容体定量法の確立	竹下 香(新庄香)	第三内科	700,000	文部科学省 科学研究費補助金
シェーグレン症候群末梢血および唾液腺上皮細胞における遺伝子発現のDNAチップ研究	小川 法良	第三内科	1,100,000	文部科学省 科学研究費補助金

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
関節リウマチにおける光線力学療法の応用のための基礎的研究	影山 康徳	整形外科	600,000	文部科学省 科学研究費補助金
ビデオ強化型微分干渉顕微鏡による破骨細胞の動態機能解析	星野 裕信	整形外科	1,000,000	文部科学省 科学研究費補助金
発育期神経細胞におけるウイルスの持続感染と障害発生機構の解析	小杉 伊三夫	病理学第二	1,400,000	文部科学省 科学研究費補助金
ヒト肺胞上皮細胞の上皮一間葉転換に関わる細胞周期制御の検討	千田 金吾	内科学第二	1,300,000	文部科学省 科学研究費補助金
血小板活性化因子不活性酵素遺伝子多型・活性値と肝切除後経過との関連性の検討	坂口 孝宣	外科学第二	1,600,000	文部科学省 科学研究費補助金
多分割頭部電気インピーダンス加速度脈波による局所脳循環同時計測システムの開発	岡田 満夫	脳神経外科	500,000	文部科学省 科学研究費補助金
神経再生におけるTNF α 、IL10の経時的・部位的变化の検討	長野 昭	整形外科学	600,000	文部科学省 科学研究費補助金
出血性ショック時の吸入麻酔薬の薬物動態学への影響	栗田 忠代士	麻酔科蘇生科	2,000,000	文部科学省 科学研究費補助金
聴診音リアルタイム三次元カラー可視化技術の臨床導入	佐藤 重仁	麻酔・蘇生学	1,000,000	文部科学省 科学研究費補助金
S100ファミリー蛋白の腎癌における早期診断及び分子標的療法の応用に関する検討	大園 誠一郎	泌尿器科学	1,300,000	文部科学省 科学研究費補助金
頭頸部癌の浸潤・転移におけるRho遺伝子の関与について	峯田 周幸	耳鼻咽喉科学	1,200,000	文部科学省 科学研究費補助金
tissue dysoxiaの画像解析とその蘇生法	青木 克憲	救急医学	1,600,000	文部科学省 科学研究費補助金
虚血性脳卒中における血中遊離脂肪酸および20-HETEの関与	竹内 和彦	臨床薬理学	1,800,000	文部科学省 科学研究費補助金
mRNAイメージングによる白血病治療後の微少残存細胞の同定法と網羅的な特性解析	竹下 明裕	臨床検査医学	2,800,000	文部科学省 科学研究費補助金
NKT細胞のリガンドを用いた結核感染症に対する新規樹状細胞ワクチンの開発	須田 隆文	内科学第二	1,900,000	文部科学省 科学研究費補助金
肺腫瘍に対するスーパー抗原を用いた樹状細胞ワクチンの開発	中村 祐太郎	第二内科	1,900,000	文部科学省 科学研究費補助金
尿細管再生における全駆様細胞と浸潤マクロファージの役割と再生療法への応用	藤垣 嘉秀	第一内科	2,100,000	文部科学省 科学研究費補助金
Gタンパク質共役型受容体制御による新しいメラノーマ免疫治療法の開発に関する研究	瀬尾 尚宏	皮膚科学	1,800,000	文部科学省 科学研究費補助金
悪性黒色腫患者の経皮免疫療法で誘導される細胞障害性T細胞のケモカインと走化の調節	八木 宏明	皮膚科	1,800,000	文部科学省 科学研究費補助金
自閉症障害における感覚運動入力処理に関する機能的核磁気共鳴画像研究	竹林 淳和	精神科神経科	3,300,000	文部科学省 科学研究費補助金
サリドマイドの抗血管誘導効果に基づく多血肝細胞癌治療の可能性に関する実験的研究	竹原 康雄	放射線部	1,900,000	文部科学省 科学研究費補助金

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
消化管癌に対する新たな光線力学療法の開発	田中 達郎	光学医療診療部	1,300,000	補文部科学省 委科学研究費補助金
下咽頭・頸部食道癌における音声再建術後の音声、嚥下機能の評価	神谷 欣志	第二外科	1,400,000	補文部科学省 委科学研究費補助金
エバネッセント蛍光を利用した血中微量物質定量法の開発	土井 松幸	集中治療部	1,500,000	補文部科学省 委科学研究費補助金
神経原性疼痛過敏における一酸化窒素cGMP系の脊髄での役割に関する研究	加藤 孝澄	麻酔・蘇生学	1,900,000	補文部科学省 委科学研究費補助金
一酸化窒素の非シナプス型神経伝達に注目した麻酔薬の作用機序の解明	足立 裕史	集中治療部	1,600,000	補文部科学省 委科学研究費補助金
プロスタグランジン受容体EP4を介した子宮頸管熟化制御機構の検討	杉村 基	周産母子センター	1,500,000	補文部科学省 委科学研究費補助金
神経性無食欲症に対するエイコサペンタエン酸の有用性の検討	河合 正好	精神科神経科	1,000,000	補文部科学省 委科学研究費補助金
ショウジョウバエの遺伝子プールを用いた新規自閉症障害関連遺伝子の探索	須田 史朗	精神科神経科	1,380,000	補文部科学省 委科学研究費補助金
麻薬処方オーダリングシステムを用いた麻薬管理に関する方法論の開発	大村 知広	薬剤部	760,000	補文部科学省 委科学研究費補助金
臨床治験における安全性情報の分類とその評価システムの構築	可知 茂男	薬剤部	760,000	補文部科学省 委科学研究費補助金
臨床データ検索システムを用いた医薬品の有効性と安全性に関する疫学的評価法の確立	柴田 悠喜	薬剤部	660,000	補文部科学省 委科学研究費補助金
シェーグレン症候群患者におけるCYP2D6遺伝子多型に基づく投与設計法の確立	鈴木 時紀	薬剤部	760,000	補文部科学省 委科学研究費補助金
カラムスイッチング法を用いた簡便な5-フルオロウラシル定量法の開発	鈴木 吉成	薬剤部	760,000	補文部科学省 委科学研究費補助金
抗不整脈薬メキシレチンの用法用量設定を可能とするノモグラムの作製	山本 知広	薬剤部	760,000	補文部科学省 委科学研究費補助金
薬物トランスポーターを介した漢方薬、生薬と医薬品との相互作用の予測法の開発	吉田 直子	薬剤部	760,000	補文部科学省 委科学研究費補助金
肝細胞癌における腫瘍マーカー高値のメカニズム解明に関する研究	濱田 悅子	検査部	750,000	補文部科学省 委科学研究費補助金
ステントグラフト治療を含めた大動脈疾患に対する治療体系の確立	鈴木 一也	外科学第一	1,200,000	補文部科学省 委科学研究費補助金

計17件

(注)

合計80件

1 國、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行つた研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

1 論文発表等の実績（19年度）

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
VirchowsArch 450(6):671-681, 2007.	Immunohistochemical study on caveolin-lalpha in regenerating process tubular cells in gentamicin-induced acute tubular injury in rats.	Fujigaki Y	第一内科
Clin Exp Nephrol 11:292-2007.	Clinical analysis of 207 patients who developed renal disorders during or after treatment with edaravone reported during post-marketing surveillance.	Hishida A:	第一内科
Intern Med 47:485-491, 2008.	Association of serum adiponectin levels with all-cause mortality in hemodialysis patients.	Ohashi N,	第一内科
J Hepatol 47(6):844-850, 2007.	Cys -881 is essential for the trafficking and secretion of truncated mutant ceruloplasmin in aceruloplasminemia.	Kono S,	第一内科
J Gastroenterol Hepatol 22(9):1443-1449, 2007.	Effects of interleukin-10 gene polymorphism on the development of gastric cancer and peptic ulcer in Japanese subjects. J Gastroenterol Hepatol 22(9):1443-1449, 2007.	Sugimoto M,	第一内科
ExpertOpin Pharmacother 8(16):2701-2717, 2007.	Treatment strategy to eradicate Helicobacter pylori infection: impact of pharmacogenomics-based acid inhibition regimen and alternative antibiotics.	Sugimoto M	第一内科
Carcinogenesis 28(9):2036-2040, 2007	Role of angiotensinogen gene polymorphism on Helicobacter pylori infection-related gastric cancer risk in Japanese.	Sugimoto M	第一内科
Helicobacter 12(4):317-323, 2007.	Evidence that the degree and duration of acid suppression are related to Helicobacter pylori eradication by triple therapy.	Sugimoto M,	第一内科
J Gastroenterol Hepatol 22(7):1057-1063, 2007.	Determination of mutations of the 23S rRNA gene of Helicobacter pylori by allele specific primer-polymerase chain reaction method.	Nakamura A,	第一内科
J Gastroenterol Hepatol 22(1):51-59, 2007.	Different effects of polymorphisms of tumor necrosis factor-alpha and interleukin-1 beta on development of peptic ulcer and gastric cancer.	Sugimoto M,	第一内科

題名		発表者名	
J Clin Endocrinol Metab . 2007 、 2157-2162.	Comparison of methimazole and propylthiouracil in patients with hyperthyroidism caused by Graves' disease.	Nakamura H,	第二内科
Mol Endocrinology . 2007、 865-884.	Essential role of GATA2 in the negative regulation of thyrotropin gene by thyroid hormone and its receptor.	Matsushita A,	第二内科
Pituitary 10 : 35-45,2007.	Immunohistochemical properties of silent corticotroph adenoma and Cushing's disease..	Iino K.	第二内科
Am J Respir Cell Mol Biol 38 (2): 161-167, 2008.	Lung dendritic cells have a potent capability to induce production of immunoglobulin A.	Naito T	第二内科
Respir Med 102(2) : 313-315, 2008.	Use of the QuantiFERON-TB Gold test in Japanese patients with sarcoidosis.	Inui N	第二内科
Respir Med 102(1) : 128-133, 2008.	Anti-endothelial cell antibodies in patients with interstitial lung diseases.	Matsui T	第二内科
Respirology 13 (2): 191-202, 2008.	Involvement of the p38 MARK pathway in IL-13-induced mucous cell metaplasia in mouse tracheal epithelial cells.	Fujisawa T,	第二内科
Sarcoidosis Vasc Diffuse Lung Dis: 24(2):156-158, 2007.	Early detection of cardiac sarcoidosis: comparison of 18F-FDG PET with 11C-choline PET.	Miwa S	第二内科
Respirology 12 : 744-748, 2007.	Clinical analysis of sarcoidosis presenting with heterochronic cardiac involvement.	Miwa S	第二内科
FEMS Immunol Med Microbiol 51 : 350-362, 2007.	Immunization dendritic cell loaded with α -galactosylceramide at priming phase, but not at boosting phase, enhances cytotoxic T lymphocyte activity against infection by intracellular bacteria.	Enomoto N	第二内科

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Cancer Res 15: 67(20):10012-10018, 2007.	Helper function of memory CD8+ T cells: heterologous CD8+ T cells support the induction of therapeutic cancer immunity.	Nakamura Y	第二内科
Liver International 27(8):1066-1075, 2007.	Effect of phorbol ester and platelet-derived growth factor on protein kinase C in rat hepatic stellate cells.	Kobayashi Y	第二内科
Can. J. Physiol. Pharmacol. 85: 264-273, 2007.	Non-genomic effects of aldosterone on intracellular ion regulation and cell volume in rat ventricular myocytes.	Matsui S	第三内科
Circ. J. 71: 429-436, 2007.	Protein kinase A catalytic subunit alters cardiac mitochondrial redox state and membrane potential via the formation of reactive oxygen species.	Nagasaka S	第三内科
Ann. N.Y. Acad. Sci. 534-539, 2007.	Electrophysiological effects of SN-6, a novel Na ⁺ /Ca ²⁺ exchange inhibitor on membrane currents in guinea pig ventricular myocytes.	Niu CF	第三内科
Jpn. J. Immunol 30(5) : 408-413, 2007.	リウマチ膠原病診療における抗環状シトルリン化ペプチド抗体（抗 CCP 抗体）の臨床的有用性の検討,	下山久美子、	第三内科
Mod Rheumatol 17:45-53, 2007.	CD40-CD40 ligand signal induces the intercellular adhesion molecule-1 expression through nuclear factor-kappa B p50 in cultured salivary gland epithelial cells from patients with Sjögren's syndrome.	Saito M	第三内科
Accepted in International Journal of Neuropsychopharmacology.	Genetic and expression analyses reveal elevated expression of syntaxin 1A (STX1A) in autism.	Nakamura K	精神科神経科
American Journal of Medical Genetics Part B Neuropsychiatric Genetics (available online).	Genetic analyses of <i>roundabout</i> (<i>ROBO</i>) axon guidance receptors in autism.	Anitha A	精神科神経科
Biological Psychiatry 63: 678-685, 2008.	Gene expression and association analyses of pericentrin 2 (<i>PCNT2</i>) in bipolar disorder.	Anitha A	精神科神経科

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Biochemical and Biophysical Research Communications 356: 200-206. 2007.	Genetic analyses of the brain-derived neurotrophic factor (BDNF) gene in autism.	Nishimura K	精神科神経科
Neurosci Res. 57(2):194-202, 2007.	Linkage disequilibrium analysis of the CHRNA7 gene and its partially duplicated region in schizophrenia.	Iwata Y	精神科神経科
Schizophr Res. 89(1-3):154-60, 2007.	Increased levels of serum soluble L-selectin in unmedicated patients with schizophrenia. Schizophr Res. 89(1-3):154-60, 2007.	Iwata Y	精神科神経科
Biochem Biophys Res Commun. 360(4):715-20. 2007.	SNP analyses of growth factor genes EGF, TGFbeta-1, and HGF reveal haplotypic association of EGF with autism.	Nakamura K,	精神科神経科
Eur J Neurosci. 25(11):3376-84. 2007.	Disruption of reelin signaling attenuates methamphetamine-induced hyperlocomotion.	Nakamura K,	精神科神経科
Schizophr Res. 2008 Jan;98(1-3):148-56.	Decreased expression of reelin receptor VLDLR in peripheral lymphocytes of drug-naive schizophrenic patients.	Nakamura K	精神科神経科
Schizophr Res. 99(1-3):359-64. 2008.	Genetic examination of the PLXNA2 gene in Japanese and Chinese people with schizophrenia.	Iwata Y	精神科神経科
J Hum Genet. 52:794-803, 2007.	Association analysis of HSP90B1 with bipolar disorder. J Hum Genet. 52:794-803, 2007.	Nakamura K	精神科神経科
Neurosci Lett. 417:316-321, 2007	Association analysis of ATF4 and ATF5, genes for interacting-proteins of DISC1, in bipolar disorder.	Nakamura K,	精神科神経科
Biol Psychiatry. 62:267-269, 2007	Decreased Serum Levels of Epidermal Growth Factor in Adult Subjects with High-Functioning Autism.	Iwata Y	精神科神経科

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
J Clin Invest. 117:931-943, 2007	Autistic-like phenotypes in Cadps2-knockout mice and aberrant CADPS2 splicing in autistic patients.	Nakamura K	精神科神経科
Neuropsychopharmacology. 32(8):1727-37, 2007.	A promoter haplotype of the inositol monophosphatase 2 gene (IMPA2) at 18p11.2 confers a possible risk for bipolar disorder by enhancing transcription.	Iwata Y	精神科神経科
J Hum Genet. 52(1):86-91, 2007.	Association and synergistic interaction between promoter variants of the DRD4 gene in Japanese schizophrenics.	Iwata Y	精神科神経科
Prog uropsychopharmacol Biol Psychiatry. 31(1):187-90, 2007.	Decreased serum levels of transforming growth factor-beta1 in patients with autism.	Iwata Y	精神科神経科
Journal of Thoracic Cardiovascular Surgery. 133(4):942-948, 2007	Controlled low-pressure perfusion at the beginning of reperfusion attenuates neurologic injury after spinal cord ischemia.	Shi E	第一外科
Annals of Thoracic Surgery. 83(4):1484-1490, 2007	Therapeutic benefit of intrathecal injection of marrow stromal cells on ischemia-injured spinal cord.	Shi E.	第一外科
J.Thorac.Cardiovasc.Surg. 133:710-716, 2007	Effect of prophylactically administered edaravone during antegrade cerebral perfusion in a canine model of old cerebral infarction,	Washiyama N	第一外科
World Journal Surgical Oncology. 5(54):1-7, 2007	How do we manage the gastrectomy of gastric cancer after coronary artery bypass grafting using the right gastroepiploic artery?	Konishi Y	第一外科
Interact Cardiovasc Thorac Surg. 7(2):262-266, 2008	Changes in cerebrospinal fluid and blood lactate concentrations after stent-graft implantation at critical aortic segment a preliminary study.	Bashar AHM.	第一外科
Pathol Int. 2007 Oct; 57(10): 664-671. Erratum in: Pathol Int. 2007 Nov; 57(11): 757.	PIK3CA mutation and amplification in human lung cancer.	Takamochi K	第一外科

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Lung Cancer. 2008 Jan 31; [Epub ahead of print]	EML4-ALK fusion transcripts, but no NPM-, TPM3-, CLTC-, ATIC-, or TFG-ALK fusion transcripts, in non-small cell lung carcinomas.	Takamochi K	第一外科
J Vasc Surg 45:1016-1021, 2007 (3.811)	Preliminary experience with a novel fluorescence lymphography using indocyanine green in patients with secondary lymphedema.	Unno N	第二外科
Eur J Vasc Endovasc Surg 2007 Oct 25; 35(2) 205-207, 2008	Indocyanine green fluorescence angiography for intraoperative assessment of blood flow: a feasibility study.	Unno N	第二外科
Surgery. 142(1):57-66, 2007.	Effect of hyperbarically oxygenated-perfluorochemical with University of Wisconsin solution on preservation of rat small intestine using an original pressure-resistant portable apparatus.	Inuzuka K,	第二外科
J Surg Res 139(1): 68-76, 2007.	Loss of claudin-1 expression correlates with malignancy of hepatocellular carcinoma.	Suzuki S	第二外科
Hepatogastroenterol 54:585-589, 2007.	Late postoperative complications in patients with pancreaticobiliary maljunction.	Sakaguchi T	第二外科
Liver Int 27(8): 1076-1085, 2007.	Significance of morphological alteration by portal vein branch ligation in endotoxin-induced liver injury after partial hepatectomy.	Ota S	第二外科
Biol Pharm Bull. 30(4):633-637, 2007.	VEGF-C and VEGF-A synergistically enhance lymph node metastasis of gastric cancer.	Kondo K,	第二外科
Dig Surg. 24(3):214-220, 2007.	Tonometer pH monitoring of free jejunal grafts following pharyngolaryngoesophagectomy for hypopharyngeal or cervical esophageal cancer.	Kamiya K	第二外科
Carcinogenesis. 28(8):1752-1758, 2007.	ARA54 is involved in transcriptional regulation of the cyclin D1 gene in human cancer cells.	Kikuchi H	第二外科

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Cancer Sci. 98(11):1734-9, 2007.	Effect of loss of heterozygosity of the c-kit gene on prognosis after hepatectomy for metastatic liver gastrointestinal stromal tumors.	Kikuchi H	第二外科
日本血管内治療学会誌 8:77-80, 2007	腹部大動脈瘤に対する局所麻酔下ステントグラフト内挿術の検討	海野直樹	第二外科
日本血管内治療学会雑誌 8 (1): 92-96, 2007.	大腿動脈以下の閉塞病変に対する血管内治療と外科的治療	山本尚人	第二外科
Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol 293(1): G178-187, 2007	Salmonella enterica serovar Typhimurium regulates intercellular junction proteins and facilitates transepithelial neutrophil and bacterial passage.	Sakaguchi T	第二外科
Phlebology Digest 20, 25-27, 2007	A novel fluorescence lymphography in secondary lymphedema.	Unno N	第二外科
日本 Shock 学会雑誌 22(2)27-31, 2007	高压酸素化 perfluorochemical による虚血腸管保護作用についての実験的検討	海野直樹	第二外科
Neurosurgery 61: 1067-1075, 2007	Matrix metalloproteinase inhibition attenuates brain edema in an in vivo model of surgically-induced brain injury.	Yamaguchi M	脳神経外科
Neuroradiology 13 (Suppl 1): 90-93, 2007	Extracranial Vertebral Artery Aneurysm Associated with Neurofibromatosis Type 1 -A Case Report- . Interventional	Hiramatsu H	脳神経外科
Cancer Lett 251: 220-227, 2007	Genetically engineered neural stem cells migrate and suppress glioma cell growth at distant intracranial sites.	Tokuyama T	脳神経外科
Clin Rheumatol 26 (4) : 505-509, 2007. [1.459]	Treatment with anti-TNF-alpha antibody infliximab reduces serum IL-15 levels in patients with rheumatoid arthritis.	Kageyama Y	整形外科

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Rheumatol Int 27 (5) : 467-472, 2007.	Anti-tumor necrosis factor-alpha antibody treatment reduces serum CXCL16 levels in patients with rheumatoid arthritis.	Kageyama Y.	整形外科
Mod Rheumatol 17 (5) : 398-402, 2007.	Methotrexate reduces the levels of pentosidine and 8-hydroxy-deoxy guanosine in patients with rheumatoid arthritis.	Kageyama Y.	整形外科
Rheumatol Int 28 (2) : 137-143, 2007. [1.070]	Etanercept reduces the serum levels of interleukin-23 and macrophage inflammatory protein-3 alpha in patients with rheumatoid arthritis.	Kageyama Y.	整形外科
Cell Biol Int 31 : 1150-1159, 2007.	Mechanical fragmentation and transportation of calcium phosphate substrate by filopodia and lamellipodia in a mature osteoclast.	Nagafusa T	整形外科
J Rural Med 2 (1) : 36-44, 2007.	Longitudinal changes of biochemical markers and bone mineral density in hyperthyroid patients during antithyroid drug therapy.	Ohishi T.	整形外科
J Rural Med 2 (2) : 105-115, 2007.	Vitamin K2 and etidronate therapy in the early period after hip fracture.	Ohishi T.	整形外科
Neuroscience Letters 417 (1) : 55-60, 2007.	Spatiotemporal quantification of tumor necrosis factor-alpha and interleukin-10 after crush injury in rat sciatic nerve utilizing immunohistochemistry.	Sawada T	整形外科
Clin Rheumatol 26 (7) : 1088-1093, 2007.	The effect of infliximab on chemokines in patients with rheumatoid arthritis.	Torikai E.	整形外科
J Comp Neurol 506 : 141-160, 2008.	Differential expression patterns of messenger RNAs encoding Nogo receptors and their ligands in the rat central nervous system.	Funahashi S.	整形外科
Clin Orthop Relat Res 466 (2):402-410,2008. [2.161]	Sequential changes of bone metabolism in normal and delayed union to the spine.	Ohishi T.	整形外科

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Connect Tissue Res 49 : 42-47,2008.	Biochemical study of collagen and its crosslinks in the anterior cruciate ligament and the tissues used as a graft for reconstruction of the anterior cruciate ligament.	Suzuki D.	整形外科
Calcified Tissue Int 82(2):162-169,2008.	Correlation between Hydroxyapatite Crystallite orientation and ultrasonic wave velocities in bovine cortical bone.	Yamato Y.	整形外科
J Hand Surg 32E (4) : 421-426, 2007.	Restoration of elbow function by intercostal nerve transfer for obstetrical paralysis with co-contraction of the biceps and the triceps.	Nagano A.	整形外科
Ultrasound Med Biol 33 (12) : 1933-1942, 2007.	Frequency dependence of ultrasonic attenuation in bovine cortical bone:an in vitro study.	Yamato Y.	整形外科
Current Rheumatology Reviews 3 (4) : 252-260, 2007.	Pyridinoline, A Collagen Crosslink, As A Biochemical Marker for Arthritis.	Takahashi M.	整形外科
J. Dermatol. 34(7): 430-4, 2007.	Efficacy and safety of preprandial versus postprandial administration of low-dose cyclosporin microemulsion (Neoral) in patients with psoriasis vulgaris.	Hashizume H	皮膚科
Dermatol. 128; 1196-1206, 2008.	Maintenance of hair follicle immune privilege is linked to prevention of NK Cell attack. J. Invest.	Ito T.	皮膚科
Curr Dir Autoimmun. 10:27-52; 2008.	Immune privilege and the skin.	Ito T.	皮膚科
J Am Acad Dermatol 57(2 Suppl):S22-5,2007.	Alopecia universalis associated with impaired interleukin-4 production and low serum IgE level.	Ito T	皮膚科
Progress in Medicine 27(5) ; 1233-1241, 2007.	抗ヒスタミン薬における効果と眠気の関係について インターネットによる患者調査.	瀧川雅浩	皮膚科

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
J. Dermatol. Sci., 48; 77-85, 2007.	The current status and future direction of percutaneous peptide immunization against melanoma.	Seo N.	皮膚科
The Journal Urology 178:517-520, 2007.	Ureteroscopic Evaluation and Laser Treatment of Chronic Unilateral Hematuria.	Mugiya S,	泌尿器科
Urologia Internationalis 79:345-351, 2007.	Neonatal Exposure to Estrogen in the Wistar Rat Decreases Estrogen Receptor-Beta and Induces Epithelial Proliferation of the Prostate in the Adult.	Ozono S.	泌尿器科
International Journal of Urology 14:284-288, 2007.	Surgical outcomes of partial nephrectomy for renal cell carcinoma: A joint study by the Japanese Society of Renal Cancer.	Ozono S	泌尿器科
International Journal of Urology 14:479-482, 2007.	Prevalence of renal cell carcinoma: A nation-wide survey in Japan, 2002.	Ozono S	泌尿器科
BJU International 100:579-587, 2007.	Randomized, double-blind, placebo- and propiverine- controlled trial of the once-daily antimuscarinic agent solifenacin in Japanese patients with overactive bladder.	Ozono S	泌尿器科
International Journal of Urology 14:754-759, 2007.	Tissue levels of pyrimidine nucleoside phosphorylase activity in human and rodent bladder cancer and normal bladder tissue.	Ozono S	泌尿器科
臨床泌尿器科 61:911-916, 2007.	非泌尿器科医に対する過活動膀胱診療に関するアンケート調査	今西武志	泌尿器科
International Journal of Urology 14:1005-1008, 2007.	Retrospective comparative study of 59 cases of laparoscopic radical prostatectomy: Transperitoneal anterior versus transperitoneal posterior approach.	Ushiyama T	泌尿器科
Scandinavian Journal of Urology and Nephrology 41:521-526, 2007.	Seasonal changes in symptom score and uroflowmetry in patients with lower urinary tract symptoms.	Otsuka A	泌尿器科

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Immunology 121(3): 349-358, 2007.	Blockade of the 4-1BB (CD137)/4-1BBL and/or CD28/CD80/CD86 costimulatory pathways promotes corneal allograft survival in mice.	Asai T	眼科
J Hum Genet 52:571-574, 2007.	Three novel mutations of the PAX6 gene in Japanese aniridia patients.	Kawano T	眼科
Ophthalmology 115:147-157, 2008	Macular carotenoid levels of normal subjects and age-related maculopathy patients in a Japanese population.	Obana A	眼科
Ophthalmic Genetics 29: 29-32, 2007	(2008) Novel <i>RDH5</i> mutation in family with mother having fundus albipunctatus and three children with retinitis pigmentosa.	Wang C-X	眼科
眼臨紀 1: 60-63, 2008.	液晶視力表 システムチャート SC-2000 の臨床評価.	浅野麻衣、	眼科
眼臨紀 1: 47-50, 2008.	間欠性外斜視 小児の両外直筋後転術	佐藤美保	眼科
J Neurosci 27:8616-8627.	Kinetic properties of Cl uptake mediated by Na ⁺ -dependent K ⁺ -2Cl cotransport in immature rat neocortical neurons.	Ikeda M	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci 48(10):4608-4615.	Kwan BS (2007) Absence of 4-1BB gene function exacerbates lacrimal gland inflammation in autoimmune-prone MRL- <i>Fas</i> ^{lpr} mice.	Asai T	眼科
J Ophthalmol 51: 417-423.	Association between open-angle glaucoma and gene polymorphism for heat-shock protein 70-1. Jpn	Tosaka K	眼科
Neurosci Lett 434(1):104-107, 2008.	Ultrastructural co-localization of cochlin and type II collagen in the rat semicircular canal.	Mizuta K	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx 34:375-377, 2007.	T:Tick bites in the external auditory canal.	Iwasaki S,	耳鼻咽喉科

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Oncogene 26(39):5762-5771, 2007.	Galanin and galanin receptor type 1 suppress proliferation in squamous carcinoma cells:activation of the extracellular signal regulated kinase pathway and induction of cyclin-dependent kinase inhibitors.	Misawa K	耳鼻咽喉科
Dig Surg 24(3):214-220, 2007.	Tonometer pH monitoring of free jejunal grafts following pharyngolaryngoesophagectomy for hypopharyngeal or cervical esophageal cancer.	Mineta H	耳鼻咽喉科
Eur Radiol 17 (5): 1221-1225. 2007.	Contrast-enhanced three-dimensional MR angiography with an elliptical centric view for the evaluation of intracranial aneurysms.	Isoda H	放射線科
Low Temp Med 33 (4): 5154, 2007.	Developmental research on cryosurgical device with the use of free piston stirling cooler.	Isoda H	放射線科
Ann Thorac Surg 83:2147-52, 2007	Incidence and Risk Factors of Postoperative Vocal Cord Paralysis in 987 Patients After Cardiovascular Surgery.	Itagaki T	麻酔科蘇生科
日臨醉会誌 27(3):253-58, 2007	Rapid Decrease of Bronchial Cuff Pressure Indicates Slippage of the Bronchial Cuff.	Jiang Y	麻酔科蘇生科
Resuscitation 74:538-545, 2007	The cardioprotective effect of dexmedetomidine on global ischaemia in isolated rat hearts.	Okada H	麻酔科蘇生科
British J Anaesthesia 99(3):440-443, 2007	Effects of using two airway exchange catheters on laryngeal passage during change from a double-lumen tracheal tube to a single-lumen tracheal tube.	Suzuki A	麻酔科蘇生科
Anesthesia and Analgesia 105(3):656-660, 2007	Landiolol, an Ultra-Short-Acting β 1-Adrenoceptor Antagonist, Dose Not Alter the Minimum Alveolar Anesthetic Concentration of Isoflurane in a Swine Model.	Kurita T	麻酔科蘇生科
Anesthesia & Analgesia 105(6):1639-1643, 2007 [2.131]	The Influence of Hemorrhagic Shock on the Minimum Alveolar Anesthetic Concentration of Isoflurane in a Swine Model.	Kurita T	麻酔科蘇生科

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Anesthesia and Resuscitation 43(2):41-42, 2007	Which Surgery Should Be Performed First for Lung Cancer with Internal Carotid Artery Occlusion?	Mizuno K	麻酔科蘇生科
British J Anaesthesia 98(4):524-30, 2007	Age and comorbidity as risk factors for vocal cord paralysis associated with tracheal intubation.	Kikura M	麻酔科蘇生科
Obstet Gynecol Surv 62(4): 255-260, 2007.	Congenital blood coagulation factor XIII deficiency and successful deliveries: A review of the literature.	Asahina T	産科婦人科
Biochem Biophys Res Comm 364:589-594,2007.	The PDZ-LIM protein CLP36 is required for actin stress fiber formation and focal adhesion assembly in BeWo cells.	Tamura N	産科婦人科
Pro NAS USA 104(10):3799-3804, 2007.	Trophoblast cell activation by trophinin ligation: Possible role in human embryo implantation.	Sugihara K	産科婦人科
FEBS Lett 23:582(2):197-202, 2008.	Induction of trophinin in human endometrial surface epithelia by CG β and IL-1 β .FEBS Lett 23:582(2):197-202, 2008.	Sugihara K	産科婦人科
Acta Obstet Gynecol Scand. 86(11) :1297-1302, 2007.	Prostaglandin E2 receptor EP4-selective antagonist inhibits lipopolysaccharide-induced cervical ripening in rabbits.:.	Fukuda Y,	産科婦人科
Curr Drug Targets. 9:229-38,2008.	The hemostasis system in murine atherosclerosis.	Iwaki T	産科婦人科
Molecular Endocrinology 22(3):707-715, 2008.	The Membrane-Spanning Domain of CD98hc Promotes $\alpha v \beta 3$ Integrin Signals in Human Extravillous Trophoblasts.	<u>Sugihara</u> K	産科婦人科
J Obstet Gynecol Res 34(2):129-136, 2008.	An integrated view for L-selectin and trophinin functionin human embryo implantation.	Sugihara K	産科婦人科

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Blood. 111:1274-81, 2007.	Deletion of murine kininogen gene 1 (mKng1) causes loss of plasma kininogen and delays thrombosis. Blood. 111:1274-81, 2007.	Iwaki T	産科婦人科
Journal of Urology in press.	Enhancement of human sperm motility by trophinin-binding peptide. Journal of Urology in press.	Sugihara K,	産科婦人科
Horm Res 68(Suppl 1):126, 2007.	Analysis of the changes in the amount of visceral and subcutaneous fat from childhood to young adulthood by the CT image analysis software.	Satake E	小児科
Horm Res 68(Suppl 1):239, 2007.	Risk of hyponatremia by hypotonic fluid administration in children with gastroenteritis.	Sano S	小児科
Childs Nervous System(Childs Nerv Syst) 23(4): 407-13, 2007.	Pilot study of i fosfamide/carboplatin/etoposide (ICE)for peripheral blood stem cell mobilization in patients with high-risk or relapsed medulloblastoma.	Okada S	小児科
Clin Drug Investig. 27: 691-696, 2007	Ulinastatin therapy in Kawasaki disease.	Iwashima S	小児科
Pediatr Cardiol. 29(2):339-342, 2008.	Ultrasound-Guided Versus Landmark-Guided Femoral Vein Access in Pediatric Cardiac Catheterization.	Iwashima S	小児科
Cancer Res 67, 11195-11201, 2007.	Differing phenotypes between intraepithelial and stromal lymphocytes in early-stage tongue cancer.	Katou F	歯科口腔外科
Lasers Med Sci 2007.	Sufficient PpIX production for PDT even with short contact time of topically applied 5-ALA in rabbit tongues.	Oura T	歯科口腔外科
日本レーザー歯学会誌 18, 16-19, 2007.	ポルフィマーナトリウムと新規半導体レーザーの組み合わせによる光線力学療法.	大浦健宏	歯科口腔外科

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Biochem Biophys Res Comm 364:289-293, 2007	p53-dependent change in replication timing of the human genome.	Watanabe Y	検査部
日本医師会雑誌 136(7): 1368-1378, 2007	臨床検査精度管理調査の統一評価を目指したマトリクス効果是正に関する研究 特にアミラーゼ、コリンエステラーゼについて。	前川真人	検査部
臨床薬理, 38(4), 273-278, 2007.	2002 年度 臨床薬理研究振興財団賞学術奨励賞研究成果報告 エビデンスに基づいた医薬品リスト選定の方法論	渡邊裕司	臨床薬理 内科
Respir Med , 102(2) , 313-315, 2008.	Use of the QuantiFERON-TB Gold test in Japanese patients with sarcoidosis,	Inui N	臨床薬理 内科
J Plast Reconstr Aesthet Surg 61(2):214-217, 2008.	The six V-flap technique for preputial stenosis.	Fujiwara M	形成外科
Hand Surg 12(3):191-197, 2007	Bipedicle flap reconstruction for complex longitudinal dorsal tissue defects of the digits.	Fujiwara	形成外科
Burns 33(7):855-859, 2007.	Macroscopic and histological findings in the healing process of inhalation injury.	Fukamizu H	形成外科
J Craniofac Surg. 18(3):684-690, 2007	Hard palate mucoperiosteal graft for posterior lamellar reconstruction of the upper eyelid: histologic rationale.	Fujiwara M	形成外科

8件

計 149 件

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 中村 達		
管理担当者氏名	総務課長 村井澄夫 薬剤部長 川上純一	医療サービス課長 白井清 放射線部長 阪原晴海	人事課長 白井国明

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌		病院部医療サービス課	カルテは、入院、外来を含め一患者一ファイル方式として、保存管理している。 エックス線写真は、放射線部にて保存管理している。
処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		処方箋は薬剤部診療情報室	
各科診療日誌		各診療科	
エックス線写真		放射線部	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務部人事課	
	高度の医療の提供の実績	病院部医療サービス課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務部総務課	
	高度の医療の研修の実績	病院部医療サービス課	
	閲覧実績	病院部医療サービス課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	病院部医療サービス課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院部医療サービス課 薬剤部	
	確規保則の第9条の2及び第11条の各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	病院部医療サービス課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	病院部医療サービス課
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	病院部医療サービス課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	病院部医療サービス課
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	病院部医療サービス課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	病院部医療サービス課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	病院部医療サービス課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	病院部医療サービス課

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の1各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	病院部医療サービス課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	病院部医療サービス課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	病院部医療サービス課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	病院部医療サービス課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	病院部医療サービス課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	病院部医療サービス課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器管理部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器管理部
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	医療機器管理部

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院部長	渥 美 守
閲覧担当者氏名	医療サービス課長	白 井 清
閲覧の求めに応じる場所	閲 覧 室	

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延	0 件
閲 覧 者 別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地 方 公 共 団 体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	6 2 . 6 %	算 定 期 間	平成19年4月1日～平成19年3月31日
算	A : 紹 介 患 者 の 数		1 0 , 9 9 9 人
出	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		6 , 7 0 3 人
根	C : 救急用自動車によって搬入された患者の数		1 , 7 3 4 人
拠	D : 初 診 の 患 者 の 数		2 4 , 3 1 7 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13条-2)

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 (2名) • 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 (1名) • 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 • 無
・所属職員： 専任（2）名 兼任（0）名 ・活動の主な内容： 医療事故及びインシデントの収集、調査、分析に関する事。 医療事故防止対策の立案及び周知に関する事。 リスクマネージャーとの連絡調整に関する事。 医療事故防止に係る教育、研修、啓発の立案に関する事。他	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="radio"/> 有 • 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 • 無
・指針の主な内容： 安全管理に関する基本的な考え方。 安全管理体制確保のための委員会組織等。 医療事故発生時の対応等。 診療科及び中央診療施設ごとに安全管理のためのマニュアルを設置し 適切に対応。 患者からの医療の安全に関する相談・苦情等に対応するため患者相談 窓口を設置。他	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催	年 11回
・活動の主な内容： 医療安全管理体制の確保に関する事。 医療事故等の把握、分析、対処改善及び評価に関する事。 医療安全管理のための職員研修に関する事。 その他の医療の安全管理に関する事。	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 5回
・研修の主な内容： 講演会5回 医療安全管理及び感染対策に係る新任者研修 研修医ガイドンス（医療事故・安全対策について） 新採用者オリエンテーション（事故防止に関する事等）	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全管理の確保を目的とした改善の方策の状況	
・医療機関内における事故報告等の整備 ・その他の改善のための方策の主な内容： 医療事故対策チームを設置し、医療事故につながる重篤な事態が生じた場合、速やかに患者の状態を確認し、主治医に専門分野としての判断による指示を与え、治療に対する支援を行う。	(<input checked="" type="radio"/> 有) • 無)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(<input checked="" type="radio"/> 有) (<input type="radio"/> 無)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容 : <p>目的 基本的な考え方 組織的な取り組み 対策の対象者 防止のための職員研修 発生状況の報告</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 11回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容 : <p>M R S A サーベイランス、病棟巡回報告、病棟別検出菌頻度、 感染情報レポート集計報告、歯科口腔外科における感染サーベイランス、 病棟別抗菌薬使用状況報告、針刺し・切創報告</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容 : <p>耐性菌感染症の傾向と対策 H I V 感染症の現状と静岡県の診療体制</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 ・ その他の改善の方策の主な内容 : <p>委員会にて報告 該当部署に直接指導</p>	((<input checked="" type="radio"/> 有) (<input type="radio"/> 無))

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容 : <ol style="list-style-type: none"> 1) オーダ入力における医療事故防止対策 2) 薬剤使用における医療事故防止対策 3) 医薬品安全管理体制について 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (<input checked="" type="radio"/> 有 · <input type="radio"/> 無) <p>薬事（新薬採用および購入など）、薬品管理、患者に対する医薬品の投薬指示および調剤、患者に対する予薬および服薬指導、医薬品の安全使用に係る情報の取り扱い、他施設（病院、薬局）との連携業務の主な内容：</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (<input checked="" type="radio"/> 有 · <input type="radio"/> 無) ・ その他の改善の方策の主な内容： <p>各部門に医薬品安全管理主任者を置き、各部門での安全使用をより細かく実施できる体制を取った</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有・無)
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 6 0 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 該当機器の安全使用に関する専門的知識の習得 機器のハンドオン（実地）訓練等	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">計画の策定 (有・無)保守点検の主な内容： 該当機器のメーカーの推奨、マニュアル記載に従い点検を行う。 また、院内にて遂行できない場合は外注により行う	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)その他の改善の方策の主な内容： 該当機器関連メーカーからの安全性情報および医薬品、医療機器総合機構からの安全性情報を収集し、医療機器管理部の院内ホームページにて広報するとともに、医療安全管理室（院内安全委員会）経由で関連部署へ通達している。	